

平成 26 年度東南アジア研究所共同利用・共同研究拠点
「東南アジア研究の国際共同研究拠点」年次研究成果発表会 プログラム 1
(各演題、発表 10 分、質疑 5 分とさせていただきます)

日時：平成 27 年 2 月 19 日 (木)

会場：京都大学東南アジア研究所 稲盛財団記念館 2 階 2 0 1 「東南亭」

16:00-16:15 開会・趣旨説明 松林公蔵 (京都大学東南アジア研究所)

セッション

16:15-16:30 終了課題VI-1 (伊藤未帆・東京大学 教養学部)

「社会主義体制下ベトナムにおけるジェンダー政策の策定とその実施過程」

16:30-16:45 終了課題VI-2 (上田新也・大阪大学 大学院文学研究科)

「ベトナム北部・中部における農業開発の歴史地理学的検討」

16:45-17:00 終了課題VI-3 (合地幸子・東京外国語大学 大学院総合国際学研究科)

「インドネシア・ジャワにおけるケア倫理の探求ーローカル・エシックスの民族誌」

17:00-17:15 終了課題VI-4 (広田勲・名古屋大学 生命農学研究科)

「歴史的観点からみた東南アジア大陸山地部における「伝統的」焼畑農業の再考」

17:15-17:45 質疑応答 (30 分)

【付記】 下記課題は都合によりご欠席のため、発表はレポート提出に代えさせていただきます。

終了課題VI-5 (千田沙也加・名古屋大学 大学院教育発達科学研究科)

「カンボジアにおけるポル・ポト政権期後の基礎教育再建の文脈に関する研究

ー教師と学校教育の社会的背景と位置づけに着目して」

平成 26 年度東南アジア研究所共同利用・共同研究拠点
「東南アジア研究の国際共同研究拠点」年次研究成果発表会 プログラム 2
(各演題、発表 8 分、質疑 2 分としてください)

日時：平成 27 年 2 月 20 日（金）

会場：京都大学東南アジア研究所 稲盛財団記念館 3 階大会議室

9:00 開会 松林公蔵（京都大学東南アジア研究所）
9:00 – 9:10 所長挨拶 河野泰之（京都大学東南アジア研究所）
9:10 – 9:20 拠点の状況報告 松林公蔵（京都大学東南アジア研究所）

セッション 1

司会 中西嘉宏（京都大学東南アジア研究所）

9:20 – 9:30 終了課題Ⅳ-1（代表：佐藤史郎・大阪国際大学国際コミュニケーション学部）
「生存基盤指数の再検討－持続型生存基盤パラダイムの国際的発信に向けて」
9:30 – 9:40 終了課題Ⅰ-1（代表：矢倉 研二郎・阪南大学経済学部）
「タイを中心とした国際労働移動に関する研究－地域経済統合は何をもたらすのか？」
9:40 – 9:50 終了課題Ⅰ-2（代表：泉川普・広島女学院大学国際教養学部）
「1930年代から50年代におけるバタヴィア・ジャカルタの華人商業ネットワークに関する研究」
9:50 – 10:00 終了課題Ⅱ（代表：石井香世子・東洋英和女学院大学国際社会学部）
「弱者救済における地域観光の有効性に関する日タイ比較研究」
10:00 – 10:10 終了課題Ⅲ-1（代表：岩月純一・東京大学大学院総合文化研究科）
「インドシナ戦争期北ベトナム逐次刊行資料保存・利用環境の整備」
10:10 – 10:25 質疑応答（15分）

セッション 2

司会 岡本正明（京都大学東南アジア研究所）

10:25 – 10:35 終了課題Ⅲ-2（代表：河野元子・政策研究大学院大学政策研究科）
(代理発表：坪内良博・京都大学名誉教授)
「新たな植民地資料利用の展望：シンガポール、マレーシア国家の史的起源をめぐって」
10:35 – 10:45 終了課題Ⅳ-2（代表：外山文子・京都大学東南アジア研究所）
「民主化における司法の役割：タイとインドネシアの比較」
10:45 – 10:55 終了課題Ⅳ-3（代表：矢野 正隆・東京大学大学院経済学研究科）
「東南アジア地域資料の長期的収集・利用に関する研究」
10:55 – 11:05 終了課題Ⅳ-4（代表：瀬戸裕之・名古屋大学大学院法学研究科）
「内陸部東南アジアの『被戦争社会』の変容とレジリエンス」
11:05 – 11:15 終了課題Ⅳ-5（代表：日向伸介・静岡大学グローバル改革推進機構）
「21世紀のタイ文化史－共同研究に向けた基盤形成」
11:15 – 11:25 終了課題Ⅳ-6（代表：生方史数・岡山大学大学院環境生命科学研究科）
「文理融合のメタ研究にむけて：持続型生存基盤研究における経験から」
11:25 – 11:35 終了課題Ⅳ-7（代表：内藤大輔・国際林業研究センター）
「東南アジアにおける社会・生態レジリエンスに関する地域間比較研究」
11:35 – 11:45 終了課題Ⅳ-8（代表：奥宮清人・京都大学東南アジア研究所）
「インドネシア・パプア州における神経難病の時代的な環境変化に伴う変遷」
11:45 – 12:00 質疑応答（15分）
12:00 – 13:00 昼食（60分）

- セッション3** 司会 石川登 (京都大学東南アジア研究所)
- 13:00 – 13:10 継続課題 I-1 (代表: 光永靖・近畿大学農学部水産学科)
「メコンオオナマズの保全に関する国際共同研究」
- 13:10 – 13:20 継続課題 I-2 (代表: 横田祥子・滋賀県立大学人間文化学部)
「インドネシアにおける海南系華人のネットワーク構築に関する人類学的研究」
- 13:20 – 13:30 継続課題 II (代表: 鈴木玲治・京都学園大学バイオ環境学部)
「ミャンマーと日本における里の農村開発のための伝統的資源活用に関する比較研究」
- 13:30 – 13:40 継続課題 III (代表: 長谷川博幸・日本土地家屋調査士会連合会研究所)
「William-Hunt Collection の 3D 画像地図アーカイブ化を通じた第二次世界大戦後大陸部東南アジアの景観変容に関する研究」
- 13:40 – 13:55 質疑応答 (15分)
- 13:55 – 14:10 コーヒーブレイク (15分)
- セッション4** 司会 甲山治 (京都大学東南アジア研究所)
- 14:10 – 14:20 継続課題 IV-1 (代表: 日下渉・名古屋大学大学院国際開発研究科)
(代理発表: 岡本正明・京都大学東南アジア研究所)
「東南アジアの首都における『開発の政治』と『支持調達の政治』」
- 14:20 – 14:30 継続課題 IV-2 (代表: 太田淳・広島大学大学院文学研究科)
「19世紀アジア経済史における東南アジアの位置づけ」
- 14:30 – 14:40 継続課題 IV-3 (代表: 山本博之・京都大学 地域研究統合情報センター)
「災害対応を通じた新しい公と私の創出・フィリピン台風災害を事例として」
- 14:40 – 14:50 終了課題 IV-4 (代表: 奥村智憲・京都大学大学院農学研究科)
「インドネシア泥炭火災由来の大気汚染物質が地域環境に及ぼす影響」
- 14:50 – 15:05 質疑応答 (15分)
- 15:05 – 15:20 コーヒーブレイク (15分)
- セッション5** 司会 大野美紀子 (京都大学東南アジア研究所)
- 15:20 – 15:30 終了課題 IV-5 (代表: 松野明久・大阪大学大学院国際公共政策研究科)
「正義を求める記憶と言説～アジアにおける大戦中の日本軍の行為をめぐる対立の分析」
- 15:30 – 15:40 終了課題 IV-6 (代表: 松田正彦・立命館大学国際関係学部)
「ミャンマーの民主化が農村にもたらすもの－東南アジアの小農世界と政治変動」
- 15:40 – 15:50 終了課題 IV-7 (代表: 長田紀之・日本貿易振興機構アジア経済研究所)
「都市誌の可能性を探る: ヤンゴン、バンコク、コロンボを事例とした総合的地域研究の模索と比較の試み」
- 15:50 – 16:00 終了課題 IV-8 (代表: 林田秀樹・同志社大学人文科学研究科)
「産業造林・アブラヤシ農園開発が与える自然と社会経済への諸影響
: インドネシア・西カリマンタン州における現地研究協力者との共同調査」
- 16:00 – 16:15 終了課題 質疑応答・討論 (15分)
- 16:15 – 16:30 コーヒーブレイク (15分)
- 16:30 – 17:30 総合ディスカッション (60分)
- | | | | | | |
|------------------|--------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| 清水展 (司会) | 矢倉研二郎 | 松田正彦 | 落合雪野 | 横田祥子 | 中西嘉宏 |
| 京都大学
東南アジア研究所 | 阪南大学
経済学部 | 立命館大学
国際関係学部 | 鹿児島大学
総合研究博物館 | 滋賀県立大学
人間文化学部 | 京都大学
東南アジア研究所 |
- 18:00 – 懇親会 京都大学東南アジア研究所 稲盛記念館 3F 中会議室、会費: 3000円